

# 2020年度実施 卒業生アンケート結果

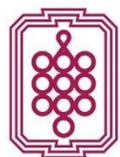
**調査目的** : 卒業後の進路・就職状況等から本学における教育成果や効果について調査し、今後の教育内容や学生サービスの改善を図るための参考資料として活用する。

**実施期間** : 2020年8月7日～9月4日

**対象者** : 2017年度卒業生 99名  
2019年度卒業生 98名 計197名

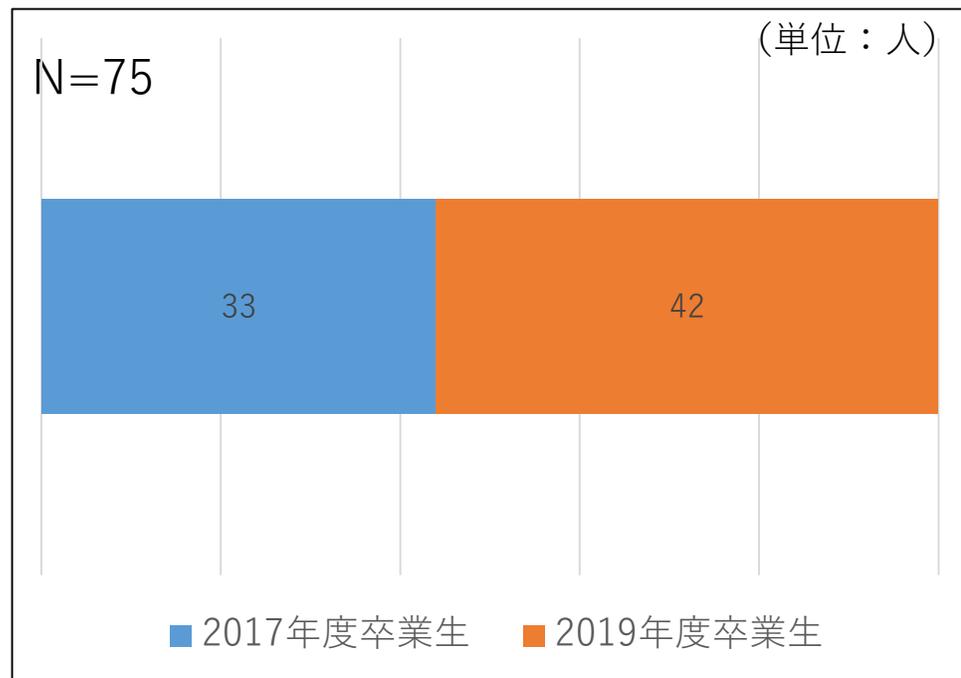
**実施方法** : GoogleformによるWebアンケート

**回答率** : 75名／197名 38.0%

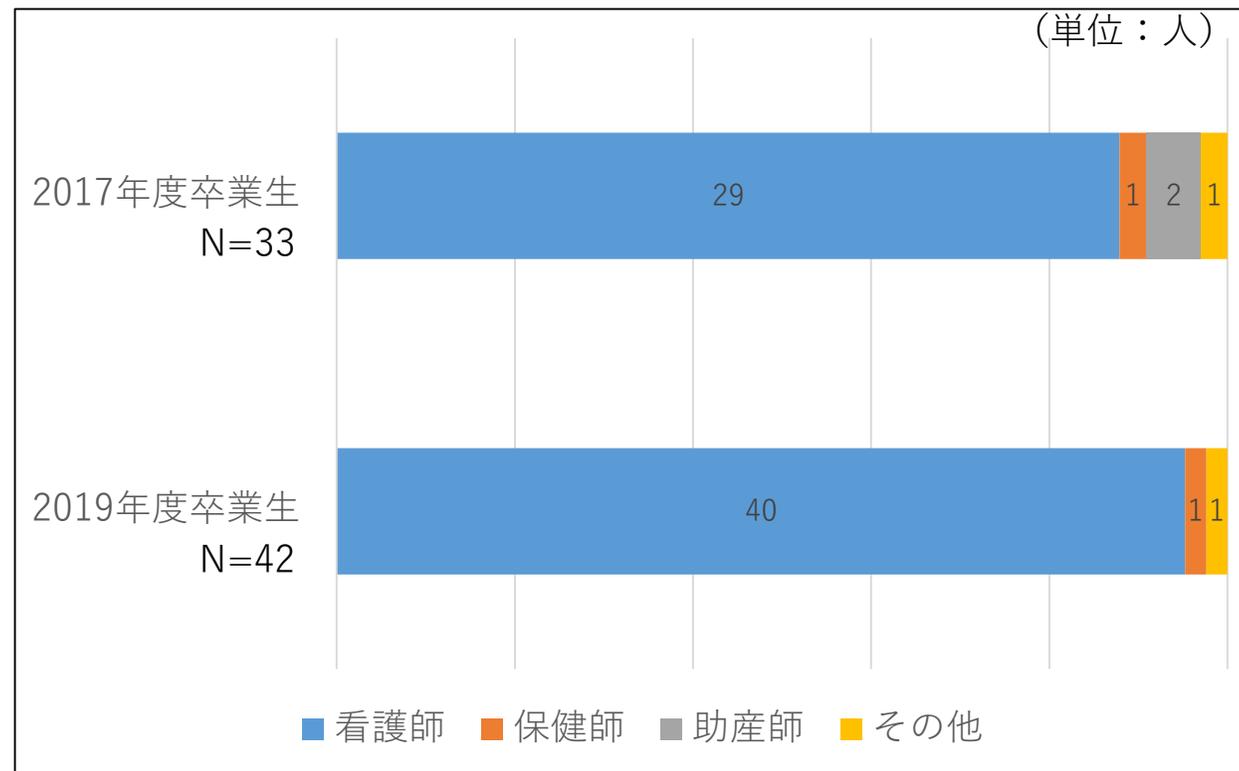


# 問1 回答者の属性について

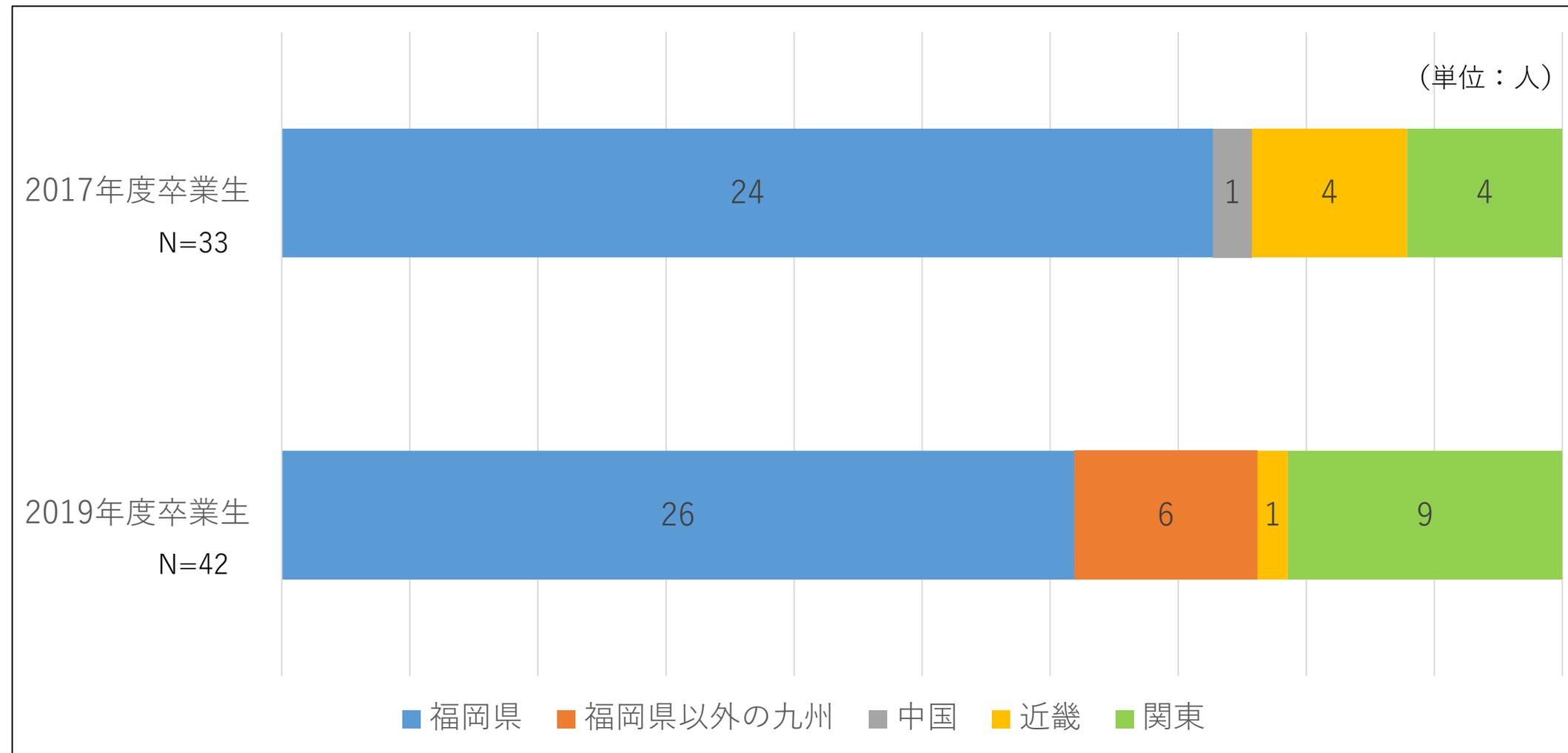
## 卒業年度



## 現在の職種



## 現在の勤務施設の所在地



**問2** 本学では卒業時に身につけてほしい能力をディプロマポリシー（卒業時要件）として以下の項目を掲げています。これらの内容は、現在の仕事や自分自身にどの程度大切であると感じていますか。

DP1-1 キリスト教精神に基づいた看護職者としての基本姿勢



DP1-2 人々にあたたかく接する態度や習慣



DP2-1 幅広いコミュニケーション能力と対人関係能力



DP2-2 ヒューマンケアリングの意味を理解し、他者と共に自分も成長する姿勢



DP3-1 医療にかかわるものとしての倫理観



DP3-2 多様な価値観を理解し、他者の権利擁護につとめる姿勢



DP4-1 看護学の専門知識・技術



DP4-2 専門的な問題解決能力



DP4-3 看護実践に必要な基礎的能力



DP5-1 リーダーシップ・メンバーシップの発揮



DP5-2 医療に携わる者としての責任感



DP6-1 物事を科学的に探究する方法



DP6-2 不断なく努力する力



■ 非常に大切である   ■ 大切である   ■ どちらとも言えない   ■ 大切でない   ■ 全く大切でない

### 問3 大学時代の教育が現在の仕事や自分自身にどの程度役に立っていると感じていますか。

基礎分野（キリスト教関連科目・一般教養科目・情報処理科目・言語科目）



専門基礎分野（人体の構造や機能・病態疾病論・保健統計学・臨床心理学など）



専門分野（看護に関する科目全般）



統合分野（卒業研究・総合看護学実習・ヒューマンケアリングなど）



■ 非常に役に立っている ■ 役に立っている ■ どちらとも言えない ■ 役に立っていない ■ 全く役に立っていない

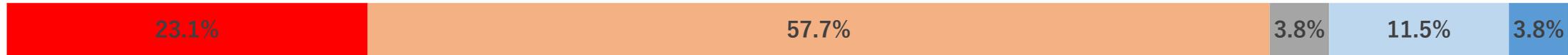
#### 問4 大学時代に受けた保健師教育が現在の仕事や自分自身にどの程度役に立っていますか。

N=26

地域の健康課題の明確化と、解決・改善策の計画・立案



地域の健康増進能力を高める為の個人・家族・集団・組織に対する継続的支援



地域の人々・関係者・関係機関等との協働



地域の人々の健康を保証する為の平時・発生時・回復時における健康危機管理

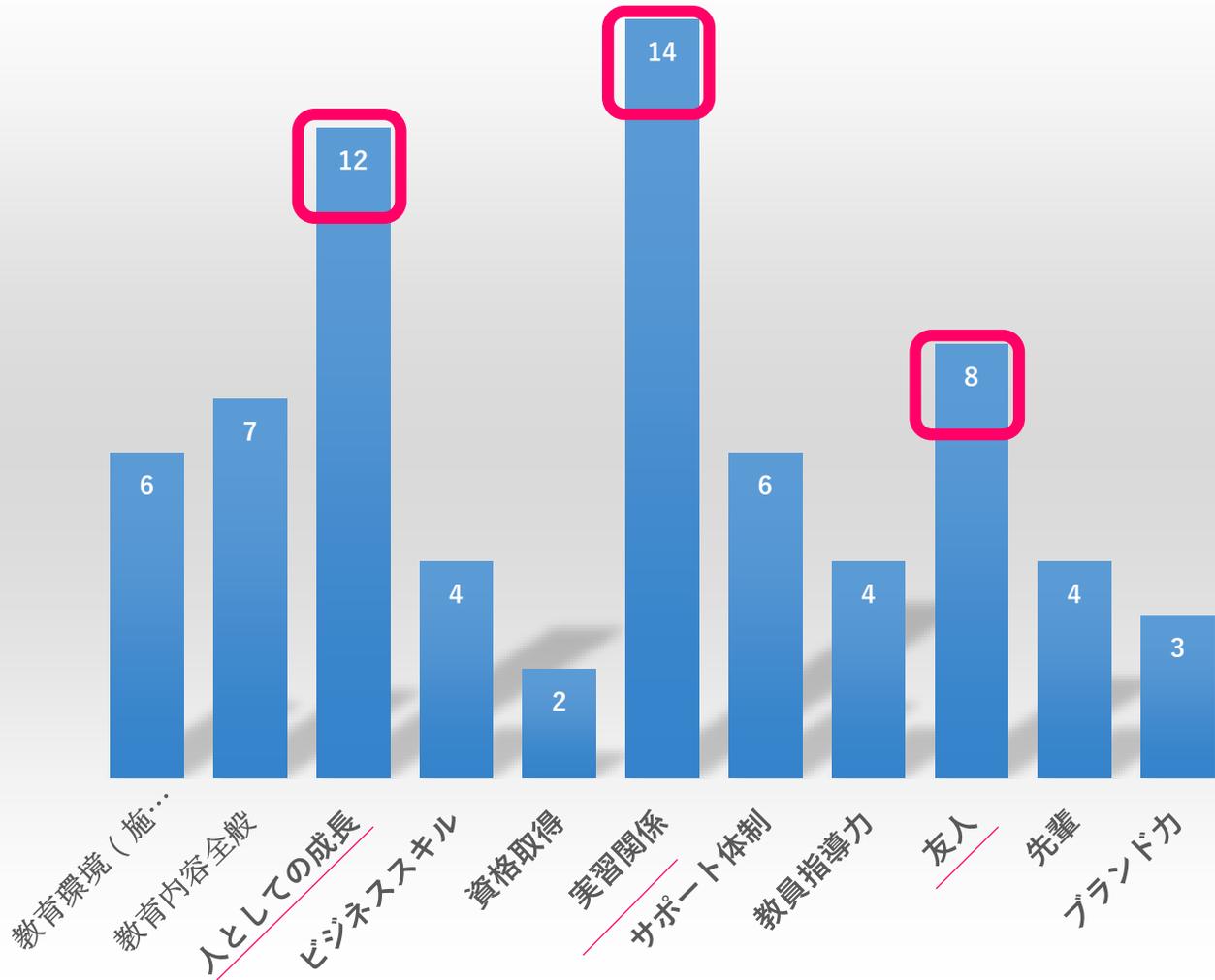


地域の健康水準を高める為の事業化・施策化・社会資源の開発・システム化



■ 非常に役に立っている   ■ 役に立っている   ■ どちらとも言えない   ■ 役に立っていない   ■ 全く役に立っていない

問5 あなたが本学の卒業生として「良かったこと」や「誇りに思えること」について（自由記述）。



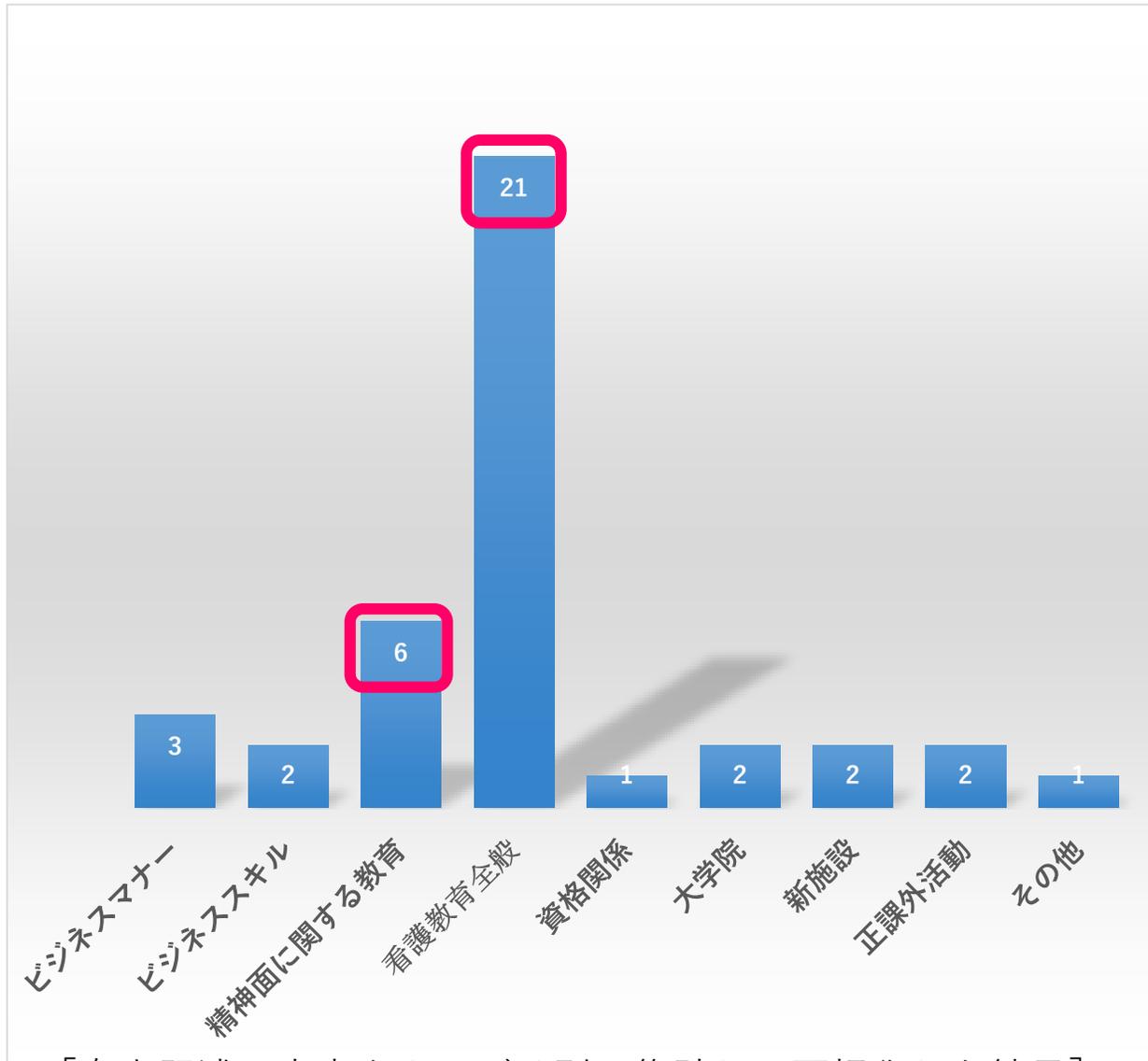
✓最も多かった「実習関係」は複数の実習先で多くの経験を積めたことに関するコメントが見受けられた

✓キリスト教精神をはじめとした「人としての成長」に関するコメントが見受けられた

✓同じ目標に向かって過ごした「友人」に関するコメントが見受けられた

[自由記述の内容をカテゴリ別に集計し、可視化した結果]

問6 あなたが本学の卒業生として大学に「取り組んでほしいこと」や「期待すること」について（自由記述）。



[自由記述の内容をカテゴリ別に集計し、可視化した結果]

- ✓ 「看護教育全般」に関する事項  
・特に「実践的な教育・シミュレーション教育活用」に関してのコメントが多く見受けられた
- ✓ 「精神面」に関わる事項  
・ストレスコントロールやキリスト教精神に関するコメントが見受けられた
- ✓ 「ビジネスマナー」に関する事項  
・礼儀、報連相、感謝の気持ちなど組織人として働く上で大切なことに関するコメントも見受けられた
- ✓ その他、大学院新設や附属病院に関すること、コロナ禍での各種行事の開催などについてもコメントが寄せられていた